

平成23年度事業計画

1 ネットワーク形成事業

(1) 理事会・通常総会(継続)

九州地域バイオクラスター推進協議会の平成22年度事業・決算報告、平成23年度事業計画・予算(案)等について審議を行うため理事会・通常総会を開催。また、講演(連携促進事業:九州地域バイオベンチャーフォーラム)交流会を開催。

日程:平成22年5月23日(月)13:00~19:00

13:00-13:45 理事会(8階 彩雲 月)

14:00-14:50 通常総会(8階 彩雲 雪)

15:10-17:30 講演(8階 彩雲 雪)

九州地域バイオベンチャーフォーラム

17:40-19:00 交流会(8階 北斗)

場所:ソラリア西鉄ホテル

(福岡市中央区天神2-2-43)

(2) クラスターマネージャー配置事業(継続)

九州地域バイオクラスター計画の深化と連携拡大を図るため、クラスター活動を総括する統括クラスターマネージャー(CM)、サブ・クラスターマネージャー(SCM)及び研究開発コーディネーター(CD)を配置し、地域に密着した研究・商品開発、事業化支援活動等を実施。

CM 九州大学 教授 深見 克哉

SCM (独)中小企業基盤整備機構 九州支部 九州地域支援事務局

プロジェクトマネージャー 藤崎 弘之

SCM (株)ベジセレクト 代表取締役 池田 透 CEO

CD 富田 和弘(元KICC、協和発酵)

(3) 企画運営委員会(ネットワーク強化委員会)事業(継続)

ネットワークの強化・拡大を図るため、協議会の活動・運営の方向性、関連事業等の実施方針、部会活動等の検討を実施。

<第1回企画運営委員会>

日程:平成23年5月11日(水)13:30~16:00

場所:九州経済産業局(福岡市) 5階 共用中会議室A・B

主な議題:平成22年度事業報告・収支決算報告

平成23年度事業計画・収支予算案

その他協議会の運営に係る諸課題

< 第 2 回企画運営委員会 > (予定)

日程：平成 23 年 1 ~ 2 月頃開催予定

主な議題：平成 23 年度事業進捗状況報告

平成 24 年度事業計画素案審議

その他協議会の運営に係る諸課題

(4) 地域間ネットワーク強化・構築事業 (継続)

九州各県・政令市、団体等のバイオ関連産業担当者が保有する情報を共有化し、担当者間連携を促進するため、九州地域バイオ関連産業担当者連絡会議を開催。

日程 (予定) : 平成 23 年 7 月 ~ 8 月頃開催予定

(5) ワーキンググループ (部会) 設置事業 (継続)

企画運営委員会のもと、「九州地域バイオクラスター計画」推進に向けたより具体的な事業の検討等を行うためワーキンググループを設置・運営する。「マーケティング部会」では、協議会が実施する販路開拓支援事業に関する企画、進捗管理、評価、機能性・健康食品の販路開拓に係る研究等を行うとともに、翌年度に実施すべき販路開拓支援事業の方向性について審議し、企画運営委員会に対して提言を行う (年 3 回程度開催予定)。

(6) 海外展開及び国内他地域との連携事業 (新規)

海外及び国内他地域への販路拡大等を目的に、海外の「食品クラスター」や国内他地域との連携を実施。特にフランス及び韓国との連携を通じた開発・販売力強化を図ることを目的に企業間の交流事業を実施。

海外食品クラスター(フランス、韓国)とのマッチング支援 (1 回)

国内他地域食品クラスターとのマッチング支援 (2 回)

2 新事業創出支援事業

(1) 事業化案件発掘支援事業 (継続)

クラスター協議会の重要な目標のひとつである事業化の推進のため、協議会会員企業に対して支援を希望する潜在的な事業化案件に関する公募を実施。CM、SCMによる重点支援案件を認定し、研究開発、機能性等評価、販路開拓等幅広い分野においてCM、SCMによる集中的なサポートを実施するとともに、一部試作品開発助成等を実施予定。
(公募予定：平成 23 年 6 月頃)

(2) IMと弁理士・弁護士とのネットワーク構築事業 (継続)

インキュベーションマネージャー、科学技術コーディネーター等の各地域における産業支援人材と弁理士・弁護士等高度な知識を有する人材の交流・ネットワーク化を図る

ため、交流、意見・情報交換を実施。各地域における産業支援人材の資質向上や高度人材とのネットワーク化を通じて、それぞれの地域における産業支援上の問題解決能力向上を図る。(九州各地で2回開催予定)

(3) フードバイオビジネススクール(継続)

崇城大学が経済産業省より認定を受けた「産学連携人材育成事業」により、平成20年度から平成22年度まで3年間実施。平成20年度に策定したカリキュラム・スケジュールに基づき平成21年度夏から本格的なスクールを開催してきた。平成23年度も引き続き、崇城大学との緊密な連携のもとにフードビジネスを総合的に学習し、戦略的な事業展開ができる人材育成を目指す。

3 連携促進事業

(1) 研究機関等現地研修会(継続)

機能性食品・健康食品に関連する研究機関や工場等を実際に訪問し先進的な事例について視察・研修を行い、会員の知識向上を通じて今後の業務に役立てる。11月頃開催予定。

平成22年度は福岡県(久留米、大牟田地域)において、(株)久留米リサーチ・パーク、オーム乳業(株)の視察を実施。

(2) 九州地域バイオベンチャーフォーラム(継続)

関係者一体となった広域的な産学官連携の促進強化を図るためのシンポジウムを実施。九州地域バイオクラスター推進協議会通常総会時に開催。

九州地域バイオベンチャーフォーラム2011(通常総会時)

記念講演(15:10~16:10)

城西大学薬学部薬科学科 医療栄養学科 教授 和田政裕 氏

「(仮)食品の機能性解析の現状とトクホの新たな可能性」

協議会会員企業事例発表(16:20~17:00)

(有)石橋屋(平成22年度事業化案件発掘・支援事業報告)

(株)オフィス・タカハシ(平成22年度事業化案件発掘支援事業報告)

北垣浩志(佐賀大学)(平成22年度事業化案件発掘支援事業報告)

八木紀子(株)ディアカンパニー(平成22年度事業化案件発掘支援事業報告)

(3) バイオイブニングカフェの開催(継続)

企業や研究者等が、一定のテーマのもとに小規模に参集し、リラックスした雰囲気

中で、話題提供や意見交換・交流を行う産学研究交流会「バイオイブニングカフェ」を実施する。熊本での開催の他、(社)鹿児島県工業倶楽部等と連携のうえ、九州各地における開催を図る。

(4) 農商工連携等ビジネスマッチング事業(新規)

農商工連携等ビジネスプラン提案及びマッチングイベントを開催し、農商工連携等による事業活動を促進する。また、「産地専門商社等創造セミナー」を開催し、産地において社会的課題解決事業を持続的に展開できるシステムを有する事業体「地域おこし会社」の創出を図る。

農商工連携等ビジネスプラン提案及びマッチングイベントの開催。

産地専門商社等創出セミナーの開催。

4 販路開拓支援事業

(1) 地場中核事業や大手企業とのアライアンスマッチング事業(継続)

主に首都圏や関西圏から商社、百貨店、通販関係者等のバイヤーを招致し、会員企業等との間で商談会を開催。(平成24年1~2月頃開催予定)。

(2) 展示会出展事業(継続)

会員企業の販路拡大、協議会活動のPRのため主に首都圏で開催される食品関連展示会に出展。機能性食品・健康食品関連に特化し最新製品・技術情報発信を目的とした「食品開発展2011」「アグリビジネス創出フェア」等へ出展予定(平成23年10~11月頃開催予定)。

(3) 販路開拓支援セミナー(継続)

食品表示制度、通販、機能性・健康食品関連の成功事例等、会員企業が機能性・健康食品販売上抱える諸課題の解決に資するため、各分野の専門家を招致しセミナーを開催。

また、会員企業によるポスターセッションを実施し、企業間連携による取組みの推進を図る。(平成23年12~平成24年2月頃開催予定)。

(4) 外国人向けテストマーケティング(新規)

九州の機能性食品・健康食品関連企業の海外進出、特に中国への海外進出の促進を目的に中国人観光客をターゲットとしたテストマーケティング(試供品提供、アンケート、ヒアリング)を実施。

5 情報提供事業

(1) 情報発信・提供事業(継続)

協議会の活動状況、バイオ関連イベント、公募情報、ベンチャーマーケットの開催情

報等につき、メールマガジン、ホームページ、会報等を通じ会員対し情報提供を実施。
また、バイオ関連企業、大学技術情報、大学特許情報等データベースの運用を行う。

メールマガジン、HPによる情報提供（通年実施）

平成22年度実績：210件（平成23年3月31日時点）

（HP新着情報：131件、活動報告31件、グラント情報11件、VM情報4件）

会報発行（年2回程度の発行を予定）

データベース：通年運用、随時アップデート、充実。

（機能性評価支援DB、企業情報DB、大学特許情報DB、大学技術シーズ情報DB等）

平成23年度 九州地域バイオクラスター推進協議会(会費事業) 収支予算

収入の部】	H23 予算額	H22決算額	増 減	備 考
会 費	6,000,000	5,815,000	185,000	前年度程度を想定
雑収入	1,037,000	1,307,648	-270,648	総会時交流会費等 495,000 展示会出展料 540,000 受け取り利息 2,000
繰越金	5,530,380	6,191,551	-661,171	H22年度決算実績額より
合 計	12,567,380	13,314,199	-746,819	

支出の部】	H23 予算額	H22決算額	増 減	備 考
理事会・総会開催事業	990,000	981,959	8,041	理事会 総会会場代及び交流会費 720,000 議事資料印刷製本費 150,000 事務経費 120,000 H22決算程度を勘案し予算を設定
クラスターマネージャー配置事業	830,000	827,623	2,377	CM等活動費・人件費280,000 CM仏派遣費 400,000 海外クラスター来日対応 150,000 H22決算程度を勘案し前年度並予算を設定
ネットワーク強化委員会 (企画運営委員会)設置事業	280,000	276,384	3,616	委員会諸経費(会議費、旅費、印刷等)280,000 H22決算程度を勘案し前年度並予算を設定
地域間ネットワーク強化・構築事業	52,000	16,720	35,280	H22決算程度を勘案し前年度並予算を設定
ワーキンググループ(部会)設置 事業	20,000	123,511	-103,511	H22決算程度を勘案し前年度並予算を設定
海外展開及び国内他地域との 連携事業	200,000	0	200,000	CM等旅費 200,000
事業化案件発掘事業	1,636,000	1,172,825	463,175	試作研究助成金(団体2件、個人2件)1,600,000 事務経費36,000 H22決算を勘案し減
IMと弁理士・弁護士とのネットワーク 構築事業	10,000	0	10,000	会議費10,000 H22予算並計上
フードバイオビジネススクール (経営者教育)事業	30,000	16,600	13,400	事務経費30,000 H22予算並計上
バイオトレーニング	0	175,000	-175,000	事業終了による減
新成長分野調査事業	0	2,000	-2,000	事業終了による減
研究機関現地研修会	205,000	115,478	89,522	使用賃借料(バス借上)150,000 会議経費55,000 H22予算並計上
九州地域バイオベンチャー フォーラムの開催	5,000	0	5,000	事務経費5,000 H22予算並計上
バイオオープニングカフェ	320,000	202,143	117,857	会場経費120,000 職員等旅費100,000 事務経費100,000 H22予算並計上
アライアンスマッチング事業	215,000	0	215,000	事務経費215,000 H22予算並計上
展示会出展事業	970,000	960,698	9,302	小間代一部負担720,000 装飾代一部負担250,000 H22決算を勘案し増
販路開拓支援セミナー	60,000	132,564	-72,564	職員等旅費30,000 事務経費(機器借用代等)30,000 H22予算並計上
外国人向けテストマーケティング	370,000	0	370,000	会議費166,000 事務経費(翻訳代等)140,000 職員旅費64,000 H23新規事業
情報提供発信事業	1,600,000	2,407,328	-807,328	会報委託費1,200,000 ロゴ商標登録費400,000 会報回収を2回に減らすことにより減
事務局管理費	440,000	372,986	67,014	電話代 切手代 振込手数料等 340,000 全国イノベーション推進機関ネットワーク会費 100,000 H22予算並計上
予備費	100,000	0	100,000	H22予算並計上
繰越金	4,234,380	5,530,380	-1,296,000	
合 計	12,567,380	13,314,199	-746,819	